



観 光
K A N K O
た だ 力
T A K A S A K I
さ ぎ

冬

2023

vol 161

梅の香り漂う歴史ロマンが息づく、
箕郷・箕輪城特集





～国指定史跡、日本百名城～

CG制作：成瀬京司

箕輪城跡

【特集箕郷】

井伊直政が居城し、土塁や石垣、堀切などの遺構が残る平山城

国指定史跡・箕輪城は西暦1500年（永生9年）頃に長野氏が築城し、徳川四天王の一人、井伊直政も居城しました。

この城は直政が近世城郭に改修したものの、1598年（慶長3年）の高崎城築城を機に8年で廃城となりました。

箕輪城は地形を巧みに利用した広大な平山城で『日本100名城』にも選ばれています。

現在も残っている天然の堀・土塁・石垣などの遺構には箕輪城が難攻不落と言われた痕跡が残り、敵を何度も退けた巧みな戦術が随所に息づいています。



本丸に設置されている「箕輪城跡」の石碑。
左の石碑には城の解説が書かれています。



散策コース入口にある搦手口石碑

かくうま だしにし こぐちもん 復元された「郭馬出西虎口門」と「木橋」は必見

廃城後、約400年間、井伊直政が城主だった頃の門跡・石垣・土塁・堀などが手付かずのままになっていましたが調査と整備が進められ、2016年（平成28年）に「郭馬出西虎口門」が復元されました。城内で見つかっている中で、最大規模のこの櫓門は箕輪城跡の最大の見どころとなっています。

また、2022年（令和4年）には本丸と蔵屋敷を結ぶ「木橋」も整備されました。冬期は蔵屋敷から本丸への木橋は通行止めとなっていますが、堀跡の巨大さが体感できます。

今後は「本丸西虎口門（高麗門）」などを復元する計画もあり、往時の姿が少しずつ蘇っていく箕輪城。

風情ある箕輪城跡は散歩コースにもなっているので、戦国ロマンを感じながら、ぜひ散策してみたいはいかがでしょうか。



1 戦国時代の城門では関東最大級

「郭馬出西虎口門」

城の象徴とも言える「郭馬出西虎口門」は12万石の城主となった井伊直政城主時代の櫓門で、箕輪城の発掘調査された城門の中でも最大規模の城門です。

2016年(平成28年)に復元し、発掘で確認された八個の礎石の配置を元にした他、現存する全国の古い城門や絵図なども参考にして再現されました。二階建ての櫓門で幅5.3m、奥行き3.48m、高さ6.48mの杉やケヤキを使った木造の門で素朴な趣があります。戦国時代の城門としては関東最大級であり、箕輪城跡の最大の見どころポイントです。



郭馬出西虎口門 見学ポイント

石落とし



発掘調査によって門の前面が45cm長く、二階部分が張り出していることから外敵を攻撃できるように石落としが設けられていることがわかりました。



伝統工法で復元

門の屋根は手割りした杉材を使用した板葺きで、壁は竹を格子状に組んで縄で固定した木舞の上に荒壁を塗り込んでいます。

柱は基礎となる礎石上面の形状に合うように何度も加工し木材を礎石とぴったり合わせる技術(光付)で施工しています。



くらやしきかんきばし

3 本丸・蔵屋敷間木橋

堀跡にかかる木製の橋が完成し、橋は本丸跡と「蔵屋敷」と呼ばれる曲輪をつなぎ、長さ28.9m、幅2.4m、高さ6m。発掘調査で確認された礎石の配置を高崎城の^{はねばし} 刎橋の絵図を参考にして整備されました。

2 三の丸の石垣

徳川氏時代(井伊直政時代)の石垣が現存。武田信玄による攻略後、箕輪城の支配は武田氏、織田氏、北条氏、徳川氏へと移り変わりました。

発掘調査によって、三の丸には北条氏時代に構築された石垣があることもわかりました。井伊直政時代の石垣と比べると低く、一人で運べるほどの石が用いられ、この特徴を持つ石垣は北条氏邦が城主であった埼玉県寄居町の鉢形城跡でも発見されています。



4 南北に分断する大堀切

大堀切は箕輪城を南北に分断する大規模な空堀です。発掘調査で幅が最大約20m、深さは15m以上にも及ぶことがわかりました。堀下から上を見上げるとその巨大さに圧倒されます。



5 木俣

発掘調査で掘立柱の建物が確認されました。もともと木俣や郭馬出などの曲輪は現在より地形に傾斜がありましたが、城の改修の際に盛土して平らにしたそうです。(木俣の由来は井伊家家臣の由来とも)



6 御前曲輪井戸

1927年(昭和2年)8月の豪雨によって一部地盤が沈下したのをきっかけに古井戸が発見されました。

深さは20mにもなり、埋まった土の中からは長野氏代々の石塔が多数出土されました。

箕輪城の歴史 在城約60余年、 長野氏四代で守り抜いた箕輪城



長野氏の家紋



武田氏の家紋



織田氏の家紋



北条氏の家紋



徳川氏の家紋

箕輪城は戦国時代の西暦1500年(永生9年)頃、長野氏が築城しました。

甲斐の武田信玄、相模の北条氏康、越後の上杉政虎(謙信)が侵攻を繰り返す戦国の世に、長野氏は上杉氏を最後まで支え、奮戦した武将の一人でした。築城したといわれる長野業尚(なりひさ)の子である憲業(のりなり)、孫の業政(なりまさ)へと代を重ねる中で勢力を次第に強めていきました。特に業政は戦術に優れたこと、領民のために尽くした政治を行ったことから、名城主として今もなお語り継がれています。

業政は臨終に際し「我が葬儀は不要である。菩提寺の長年寺に埋め捨てよ。弔いには墓前に敵兵の首をひとつでも多く並べよ。決して降伏するべからず。力尽きなば城を枕に討ち死にせよ。これこそ孝徳と心得るべし」と伝えたといわれ、業政の死後、家督を継いだ業盛(なりもり)は武田軍の侵攻を何度も退けましたが戦いは激しさを増し総攻撃を受け、1566年(永禄9年)に落城しました。

城主業盛は「春風に うめも桜も散りはてて 名のみぞ残る 箕輪の山里」という辞世の句を残し、御前曲輪にある持仏堂で自刃するという父・業政からの遺訓を守り「城を枕に」無念な最期を遂げたと伝えられます。

その後は、めまぐるしく勢力図が変わる戦乱の世で、次々と城主が変わります。長野氏の後は武田信玄の重臣内藤昌秀などが城主となり、1582年(天正10年)に武田氏が滅亡すると、織田信長の家臣・滝川一益が箕輪城に在城しました。直後、本能寺の変で織田信長が明智光秀に討たれると今度は北条氏が上野国へ侵攻し、神流川の戦いで北条軍が滝川一益を破ると箕輪城は北条氏の手になり、1590年豊臣秀吉の小田原征伐によって、箕輪城は豊臣方の前田利家・上杉景勝・真田昌幸の大軍勢によって開城され、小田原征伐の終結後、滅亡した北条氏に代わり、関東は徳川家康256万石の所領となりました。

家康の重臣・井伊直政は箕輪12万石を与えられ、近世城郭に改修し石垣をつくり城下町を整備しました。その後、1598年(慶長3年)に直政が高崎へ城を移して廃城となり、約1世紀という長きにわたる箕輪城の歴史に終止符が打たれました。



箕輪城跡 木俣からの眺望

箕輪城から高崎城への城移り

井伊直政は、箕輪城から交通の要衝、和田の地への移城を決め、「高崎城」と命名しました。

廃城となっていた和田城を取り込んで拡張整備するとともに、遠構えと呼ばれる土塁と水堀に囲まれた広大な城下町の建設に着手しました。この移城は、武士だけでなく職人や商人、寺社仏閣など城下町全体が引越す大規模なものでした。

現在の高崎市の町名で連雀町、田町、中紺屋町、元紺屋町、新紺屋町、鍛冶町、白銀町、椿町、鞆町は箕輪から高崎へ移城した時に移転した町だと言われています。



長野業盛の墓 (高崎市井出町)

井伊直政と家康の出会い ～戦のない世を求めて～

「徳川四天王」にその名を連ね、最年少でありながら家康からの厚い信頼を受け、後に彦根藩30万石の大名となった井伊家の礎を築いたのが井伊直政です。

二人は1575年(天正3年)2月の鷹狩りで出会い、家康は一目みて大器を感じて直政の生い立ちを聞き、家臣に加えて「万千代」の名を与えたといわれます。

数々の戦いで活躍したとはいえ、なぜ直政は他の家臣よりもスピード出世を果たすことができたのでしょうか。

その答えは武力、統率力、外交力の三拍子そろった直政の実力により他なりません。

武力方面では敵に恐れられた「赤備え」で数多くの実績を残したこと。統率面では家臣には厳しい一方、他の大名や領民には慕われていたこと。

また、外交面では高度な交渉能力を発揮していたこと。これらトップに立つ者の必須能力に長けていたのです。

関ヶ原の戦いでは本多忠勝と共に軍監を務め、秀吉の死後、混乱する豊臣の大名たちに家康に付くよう働きかけて取り込み、家康は「天下取りの第一の功臣」と褒め、その働きを高く評価しました。

直政は家康から非常に厚い信頼を勝ち得た、深くつながった主従関係にあったことが伺えます。直政も家康への恩義を忘れず、生涯忠義を尽くしました。

戦国の世を終わらせ、江戸幕府の基礎を固めることに直政の力が大きく寄与したといえます。

2023年(令和5年)1月からNHK大河ドラマ『どうする家康』がいよいよ放映されます。主人公の徳川家康役に人気俳優の松本潤さん、井伊直政役に若手俳優の板垣 李光人さんが演じることで注目されています。

家康の天下平定を全力で支え、主君に仕えていく姿がどう描かれるのか今から楽しみです。



井伊家の菩提寺 / 龍門寺

箕輪城主・井伊直政が創建した寺院 (山門は市指定重要文化財)

龍門寺は1590年(天正18年)に井伊直政が創建したと伝わる曹洞宗の寺院です。

四本柱、唐破風作りの向唐門の山門となっており、門の表紋は橋、裏に井桁の井伊家の紋が刻まれています。

住所：高崎市箕郷町東明屋甲22
TEL：027-371-2105

おすすめ
スポット！

矢原宿カフェ

城下町の佇まいを色濃く残した
古民家カフェにリフォーム。

箕輪城近くにある「箕輪矢原宿カフェ」は高崎市が大正期の養蚕住宅を譲り受けて古民家カフェにリノベーションした無料の休憩所スポットです。和菓子やコーヒー、お茶も楽しめるので、のんびり気軽に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

コーヒー……………200円
みたらし団子……………100円
しそまんじゅう……………100円
パウンドケーキ…各200円
(チョコ、抹茶、フルーツ)

カフェで
提供される和菓子は
近くの老舗和菓子店
「志倉製菓」から提供
されています。

※売り切れ次第終了となります。
※ラストオーダー 午後3時30分
※火曜日は、みたらし団子・しそ饅頭の販売はしていません。

営業時間：10:00～16:00
定休日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)
住所：高崎市箕郷町矢原1650
TEL：027-386-8520
駐車場：敷地内に駐車スペースあり(無料・約5台)



パウンドケーキ
(チョコ)

パウンドケーキ
(フルーツ)



みたらし団子



箕輪城語り部の会

箕輪城には地元のガイドさんが、初心者にも分かりやすい解説でお城の魅力を伝えてくれます。

毎週日曜日午前中、知識豊富なガイドさんと一緒に箕輪城を楽しめましょう。

また、日本100名城スタンプの押印も行っているため、登城の記念にぜひ集めてはいかがでしょうか。

▼詳細はこちら
(高崎市ホームページ)
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2017080900029/>



日本100名城スタンプ設置場所
高崎市箕郷支所受付窓口(休日は日直窓口)

住所：高崎市箕郷町西明屋702-4
時間：8:30～17:15
TEL：027-371-5111



オススメ!

昔ながらの製法で作られた懐かしい味!

みたらし団子

志倉製菓

営業時間: 9:00~17:00
定休日: 火曜日
高崎市箕郷町西明屋303-1
TEL: 027-371-2528

高崎市
箕郷商工会HP



オススメ!

お店で焼きあげた絶品ピザ!
定番のマルゲリータの他に5種類あります!

自家製ピザ

榛名高原つり堀センター
営業時間: 8:00~日没
定休日: 火曜日
高崎市箕郷町中野1978-4
TEL: 027-371-5477

公式HP



オススメ!

丁寧に焼き上げられたパンはふっくらやさしい味!

種類豊富な手作りパン

はるなベーカリー

営業時間: 9:00~16:00
定休日: 日曜日・月曜日
高崎市箕郷町生原594-1
TEL: 027-371-0944

公式HP



オススメ!

新鮮な魚介類がたっぷり!

シーフードサラダ

レストランマウントクック

営業時間: 11:30~15:00 / 17:30~21:00
定休日: 水曜日
高崎市箕郷町上芝830-4
TEL: 027-371-6114

公式HP



オススメ!

新鮮なホルモンは臭みもなくオススメ!
焼肉だけでなくたくさんメニューがあります!

豚ホルモン

ホルモン まつき屋

営業時間: 11:30~15:00 / 17:30~22:00
定休日: 木曜日
高崎市箕郷町上芝672-1
TEL: 027-333-4768

公式HP



オススメ!

おきりこみは味噌味、醤油味から選べしで
蒸した温野菜は、季節のお野菜がたっぷり!

おきりこみ御膳

(おきりこみ、温野菜、前菜、飲み物のセット)

貴美庵

営業時間: 11:30~14:00
定休日: 日曜日・月曜日・火曜日
高崎市箕郷町東明屋409-4
TEL: 027-371-2650

公式ブログ



オススメ!

新鮮なお刺身とふっくらした身が絶品の鰻重!

刺身定食と鰻重

御食事 三千代

営業時間: 11:00~14:00 / 17:00~20:30
定休日: 水曜日と日曜日の夜
高崎市箕郷町生原1226-1
TEL: 027-371-5058

高崎市
箕郷商工会HP



オススメ!

店まこだわりの手打ちそば!
季節に合わせたお蕎麦もオススメ!

鴨セイロ

そば処 おおの

営業時間: 11:30~14:30頃
定休日: 毎週火・水曜日、第1・3月曜日
高崎市箕郷町上芝342-3
TEL: 027-371-4479

公式HP



ふるさと祭り東京2023

～東京ドーム「ふるさと祭り東京」に3年ぶりに出店～

3年ぶり13回目となる国内最大級のグルメイベント「ふるさと祭り東京2023」が開催されます。

「日本のまつり・故郷の味」をテーマに、全国から各地域に根付いた祭りや故郷の味が新春の東京ドームに大集結。

40万人もの人出でにぎわう食の祭典に、高崎の「開運たかさき食堂」も3年ぶり8回目の出店をします。

高崎名物の焼きまんじゅうをはじめ、パスタの街高崎としてシャンゴ風パスタやキングオブパスタ優勝店のメニュー、ほるもの街高崎からは、もつ煮やほるもん焼きを提供します。その他にも、高崎産の新鮮なフルーツや東日本一の生産を誇る梅・梅加工品など来場者を高崎の“うんまいもの”で“おもてなし”します。

また、会期中は菓子職人による高崎銘菓の実演販売、だるま職人による名入れに加え、開運おみくじや輪投げで高崎だるまが貰える高崎縁日広場などの企画も盛りだくさん。

ふるさとステージで、ソフトボールシティ高崎を代表する2チームから、ビックカメラ高崎の上野由岐子選手と藤田優選手、太陽誘電の中溝優生選手と上林藍子選手が登場し高崎の魅力を語るトークイベントを開催します。

高崎が誇る、観光、文化、伝統工芸、食などを全国に向け力強く発信する「ふるさと祭り東京」をお楽しみください。

●開催日：2023年1月13日(金)～1月22日(日)

13日～21日…10:00～21:00

22日…10:00～18:00

●チケット：当日券…2,000円(前売り1,800円)

平日限定当日券…1,600円(前売り1,400円)

イブニング券…1,400円

○ふるさとステージ

高崎市観光トークイベント・ソフトボールシティ高崎

●日時：2023年1月14日(土)

①12:40～20分間

②15:30～20分間 計2回



ふるさと祭り東京
公式HP



榛名の梅祭り

●開催日：2023年3月19日(日)

●開催場所：榛名文化会館エコー前広場

●お問合せ：榛名観光協会

TEL：027-374-5111



TAKASAKI CITY

第32回はるな梅マラソン

●開催日：2023年3月12日(日)

●開催場所：榛名文化会館エコー前広場

●お問合せ：TAKASAKI CITY

はるな梅マラソン実行委員会

TEL：027-374-6715



みさと梅まつり

●開催日：2023年2月26日(日)～3月下旬

●開催場所：高崎市箕郷町善地・富岡

●お問合せ：高崎市箕郷支所産業課

TEL：027-371-5111

東日本一の梅産地

高崎市 榛名梅林・箕郷梅林

東日本一の梅産地として名高い高崎市。開花シーズンに合わせて榛名梅林、箕郷梅林では毎年恒例のイベント等が開催されます。

約12万本の梅林が広がる榛名地域で今回32回目を迎える「はるな梅マラソン」。清流烏川沿いを走るハーフマラソンやアップダウンの激しいコースなど、梅花を楽しみながら走り応えのある様々なコースが揃っており、都心からの参加者も多い人気のイベントです。

また、「榛名の梅祭り」では、梅の加工品の販売や、梅製品が当たるゲーム大会など梅林を楽しめる企画が盛り沢山です。

歴史が香る箕輪城跡のお膝元「箕郷梅林」。関東平野を一望する丘陵に約10万本の梅の木が植えられており、開花時期には、あたり一面をまるで雲海のごとく純白の梅花が埋めつくします。梅まつり期間中は散策路の各コースで梅林を楽しむことができ、箕郷の名産品や梅製品などを販売している売店があり、観光客にも人気のスポットです。

蛮珈夢 (ばんかむ)

約半世紀、世代を超えて愛される、
隠れ家のような喫茶店

PICK UP ●ロイヤルブレンド 500円(税込)

人が集える場所を作りたい、その夢を叶えた喫茶店『蛮珈夢』

市街地の喧騒から離れ、のどかに流れる烏川を渡って片岡町に入り、和田橋通りを進むとそこは八千代町。季節ごとに美しい景色を楽しめる護国神社や染料植物園、観音山に向かう途中に喫茶店『蛮珈夢』があります。一軒家のお店は緑豊かな観音山を背景にした閑静な住宅の佇まいに囲まれ、高校生の部活の音が聞こえる長閑なエリアにあります。

当時オーナーは、第二の人生を歩むにあたり『人の為になることをしたい。人が集える場所を作りたい』という想いから喫茶店の開業を決めました。場所はお世話になった方が居て知己も多い高崎市の市街地に近いながらも静かなこの地を選びました。

仲間が考案した店名とロゴデザイン

人を尊重するオーナーの人柄に惹かれた仲間が集まり、開店へ向かって動きだします。ある時、店の名前を思案していると仲間の一人が「ばんかむ」を提案しました。蛮は種、かむは飲み物。「ばんかむ」は菓の意味をもつことに由来し、元は薬用だった珈琲を表す言葉であり、びったりの名前です。ばんかむの"む"は夢という文字。常用漢字の夢にするとデザイン上重くなるので、旧字でなおかつ略字である"夢"を選び、優しい印象に。またクリーニング店を営む仲間の一人が店のロゴをデザインしました。モダンで懐かしく、どこかクラシカルな文字がレタリングで描かれ、それを見たオーナーは即採用を決めました。創業より46年間変わらず、看板やメニューに使われ続けています。また当時、電話帳への掲載に際して、この"夢"が活字には無く、文字を製作するところからスタートしたという裏話も残っています。

創業より46年間変わらずに守り続けられてきた一杯のコーヒー

オーナーは開店に先駆け、株式会社キーコーヒーの協力により、同社が主催する技術や喫茶店経営を学ぶ教室で自身の準備を進めました。そして昭和52年、オーナーと仲間たちの想いが詰まったお店がオープン。やわらかな陽が差し込むテーブル席、ピアノを思わせる美しい曲線をあしらったカウンター、こだわり抜いた調度品の数々が並び、スピーカーから流れるクラシックがなんとも心地いい。オーナーが気に入っている美食家としても有名なシャルル＝モーリス・ド・タレーラン＝ペリゴールの詩が、使い込まれた木製のカバーのメニューブックには書かれています。



木製カバーのメニューブック

『魔のように黒く
地獄のように熱く
天使のように清く
恋のように甘く…』

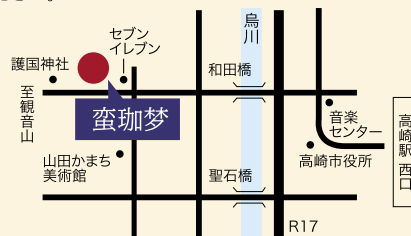
この言葉が出迎え、上質な空間でいただく一杯のコーヒーと共に流れる時間までがお客様をもてなします。

おすすめは『ロイヤルブレンド 500円(税込)』。創業より46年間、変わらず多くのお客様に愛され続けている一杯です。また幻のコーヒーと名高い『トアルコトラジャ 550円(税込)』を味わうのもおすすめです。

書店では決して手に取ることができない貴重な書籍に出会える

人付き合いを大切にされたオーナーの人柄により、お店は仲間だけでなく、世代を超えた多くの人の溜まり場、もしくは隠れ家のような存在として愛されています。上質で丁寧に淹れられたコーヒーを楽しむ人。居合わせた人と話に花を咲かせる人。クラシックが流れる優雅な時間を過ごす人。様々な人がこのお店でくつろぎの時間を楽しみ、来店するお客様が絶えません。自著の本を持ち寄り、お店のライブラリーに寄贈する人も多く、貴重で豊富なアーカイブがあるのもこのお店の特徴の一つ。地元の歴史を知ることができる書籍が充実しています。

約半世紀に渡る歴史に包まれた空間で、ぜひ極上の一杯を心ゆくまでお楽しみください。



【蛮珈夢(ばんかむ)】

- 高崎市八千代町2-4-6
- 電話番号:027-327-0501
- 営業時間:10:00 ~17:00
- 休休日:月曜日
- 駐車場:有



高崎観光協会 会報 冬号 Vol.161 令和5年1月1日発行

発行 一般社団法人 高崎観光協会
高崎市八島町222(高崎モンレー2階) Tel.027-330-5333
<http://www.takasaki-kankoukyoukai.or.jp>

制作 荒瀬印刷株式会社



WINTER
2023

Kankou Takasaki / PAGE. 08